

BUSINESS REPORT JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION

日本電子材料株式会社

証券コード 6855

トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)の事業の概況をご報告申し上げます。

事業の経過及び成果

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、データセンター向けや生成AIの画像処理半導体や広帯域メモリー(HBM)等の先端半導体の旺盛な需要が継続しました。

このような事業環境の中、メモリー向けプローブカードを中心に、国内外の先端半導体向けの需要拡大等に応えるため、生産増強に努めました。更に一昨年に竣工した熊本第4工場の本格稼働や、継続的な既存工場への設備投資が生産能力の向上に寄与し、生産の更なる拡大を後押ししました。この結果、売上高は前連結会計年度を上回る結果となりました。

利益面につきましても、将来的な生産能力と製品力の強化を目的とした先行投資に伴うコスト増加があったものの、売上高の増加に加えて、国内工場の高い稼働率により、前連結会計年度を大きく上回る結果となり、創業以来の最高の売上高、利益を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は29,366百万円(前連結会計年度比23.2%増)、営業利益は7,249百万円(前連結会計年度比58.1%増)、経常利益は7,177百万円(前連結会計年度比54.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5,451百万円(前連結会計年度比57.8%増)となりました。



代表取締役社長
坂田 輝久

株主の皆様へ

半導体市場につきましては、中長期的に生成AI向けを中心とした半導体需要の拡大が継続すると見込まれております。2026年度の当社グループの見通しにつきましても、メモリー向け製品を中心に拡販が引き続き進展する見通しです。

また、今後も成長が見込まれるMタイププローブカードについては、顧客需要への対応力を高めるため、2026年2月に兵庫県尼崎市に新工場を建設することを決議し、2028年8月竣工に向けて準備を進めております。加えて、人員体制の強化や既存工場に対する積極的な設備投資を継続し、一層の生産能力の向上に努めてまいります。

一方で、中東地域の情勢緊迫化に伴う世界経済の減速懸念等、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明な状況にあります。当社グループといたしましては、外部環境の変化を注視しつつ、供給網の強化に努めてまいります。

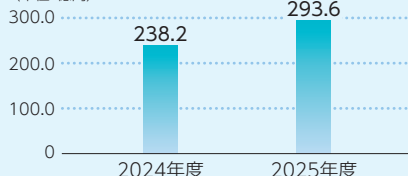
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

業績の推移

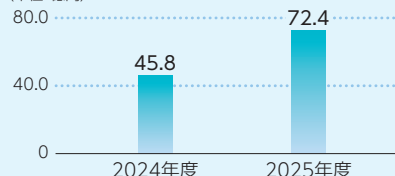
売上高

(単位:億円)



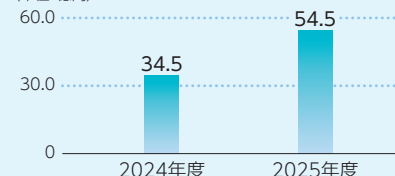
営業利益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

半導体の品質を支える。

AIをはじめとする最先端技術の基盤には、高品質な半導体が欠かせません。当社グループは、半導体の品質を支えるために不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を手掛け、最先端技術の進化を支えるパートナーとして、今後も成長を続けてまいります。



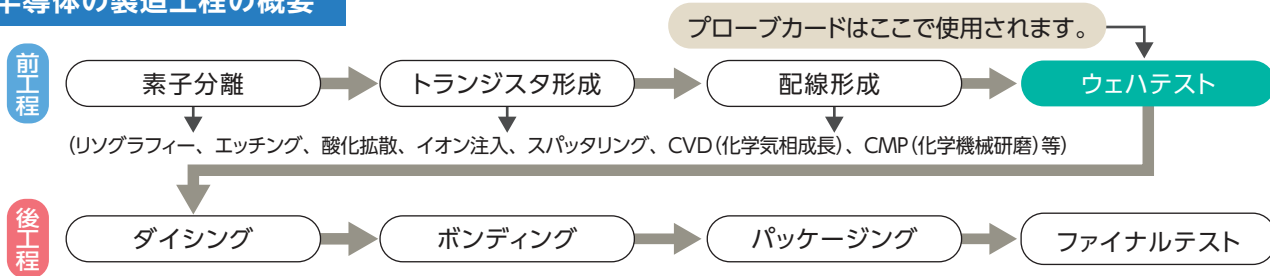
プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウェハテストとよばれる電気的な検査を行う工程で用いられます。

そして、半導体ウェハ上につくられた半導体チップの電極に、最大10万本以上のプローブ(探針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

そのため、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。

半導体の製造工程の概要



ウェハテストの概要

ウェハテストでは、半導体ウェハ上につくられた半導体チップの電極に、プローブの先端部分を接触させて電気的な検査を行い、半導体チップの良否判別が行われます。



[プローブが半導体ウェハに接触したイメージ]

半導体チップの電極にプローブが接触、半導体ウェハ側に電気信号を伝えます。

プローブカードと半導体ウェハは、電気的に接続します。

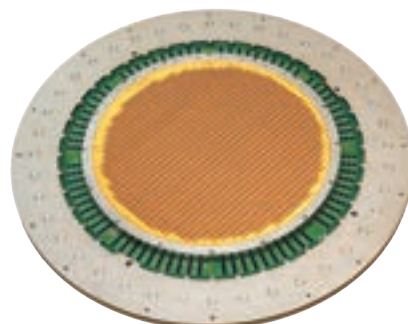
アドバンスプローブカード(Mタイププローブカード)

半導体ウェハ上につくられた半導体チップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。データセンターやスマートフォン向けに市場が拡大しているメモリー半導体等の検査に使われています。たくさんのプローブを搭載した高密度なプローブカードを生産するため、MタイププローブカードにはMEMSとよばれる高度な技術が用いられています。



MEMS製造(クリーンルーム)

Mタイプ
プローブカード
(MC)



世界の主要な生産・販売拠点



これまで、当社は先駆的に海外にも生産・販売拠点を設けてまいりました。近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、海外戦略の重要性が増しております。今後も当社グループは、海外拠点のネットワークを活かした販売活動の充実を図るとともに、日本から各国拠点への一層の技術支援により、海外販売の強化を推進いたします。

技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

TOPIC

新工場建設に関するお知らせ

今後も拡大が見込まれるMタイププローブカードに用いられるMEMS技術を用いたプローブの生産体制及び生産効率の強化、並びに次世代半導体向けプローブカードの開発推進により、顧客需要への対応力を向上させるため、兵庫県尼崎市において新工場の建設に着手しました。

本工場の建設を通じて、将来の成長を支える生産・開発体制の更なる充実を進めてまいります。

完成予想図



建設予定地	兵庫県尼崎市
目的	プローブカードの製造・研究開発設備
建物構造	鉄骨造 4階建
建築面積	約3,000㎡
延床面積	約8,000㎡

中期経営計画は順調に進捗、最終年度目標を上方修正

2025年度の売上高及び経常利益は、創業以来の過去最高を更新しました。

これを受けて、2024-2026年度中期経営計画の最終年度目標を上方修正いたしました。新工場の建設を進めながら、生産体制の強化を図り、拡大する需要にしっかりと対応し、今後も持続的な成長を目指してまいります。

(単位:百万円)

	2024年度		2025年度		2026年度		
	実績	2/6予想	実績	増加	中計目標 (当初計画)	5/14予想	増加
連結売上高	23,829	28,100	29,366	+1,266	30,000	33,000	+3,000
連結経常利益	4,640	6,200	7,177	+977	5,000	7,300	+2,300

「JEMの森 南小国」植樹イベント開催

森づくりを通じた社会貢献と地域活性化の両立を目指し、熊本県南小国町との協働プロジェクト「JEMの森 南小国」を始動しました。阿蘇郡南小国町の2.16ヘクタールの用地に、約5,400本の植栽をスタートさせました。4月には南小国町役場の皆様、当社従業員とそのご家族にもご参加いただき、和やかな雰囲気の中で植林活動を実施しました。これからも地域の皆様とともに、豊かな森づくりを進めてまいります。



阪神タイガース(ファーム・リーグ公式戦)冠協賛試合を開催

当社は、2025年4月より、阪神タイガースファームスポンサー協賛契約のもと、阪神タイガースのファーム球場である「ゼロカーボンベースボールパーク」(兵庫県尼崎市)に協賛し、同球場へ広告看板を掲出しております。また、本年4月17日(金)から4月19日(日)の3日間は、同球場で開催されたファーム・リーグ公式戦において、当社名を冠した協賛試合が開催されました。この取り組みは、地域に貢献するとともに、多くの皆様に当社を知っていただく貴重な機会となっております。



※「ゼロカーボンベースボールパーク」は、環境省が2022年に選定した「第1回脱炭素先行地域」の一つであり、地域活性化を目的に整備された環境に配慮した球場です。

会社概要

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町二丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	9,205,290千円
事業内容	●半導体検査用部品の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	6855

株式事項 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	14,663,510株
株主数	11,496名

大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)	1,701千株	11.61%
(株)日本カストディ銀行	816	5.57
大久保和正	511	3.49
(有)大久保興産	427	2.91
(株)SBI証券	371	2.53
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 5 0 5 2 2 3	370	2.53
MSIP CLIENT SECURITIES	310	2.11
(株)三菱UFJ銀行	309	2.11
BROWN BROTHERS HARRIMAN+CO BOSTON CUSTODIAN FOR ACADIAN ACWI EX US EQUITY CIT	295	2.02
INTERACTIVE BROKERS LLC	248	1.69

(注)持株比率は、自己株式(16,034株)を除いて計算しております。

役員 (2026年6月25日現在)

取締役	
代表取締役社長	さかたてるひさ 坂田輝久
専務取締役	みやもとよしゆき 宮本佳幸
常務取締役	りゅうけいいち 龍圭一
取締役	みやしまわたる 宮島渉*
取締役 常勤監査等委員	あだちやすたか 足立安孝
取締役 監査等委員	はまだゆきかず 濱田幸和*
取締役 監査等委員	ちばざくら 千葉櫻 えりか*

*は社外取締役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会…3月31日 剰余金の配当…期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777(通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufj.jp/daikou/
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。当社の公告掲載URLは次のとおりです。 https://www.jem-net.co.jp/

- (注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。